

HOT & ほっと

あやせのこと、何でも知りたい…

道路破損等通報アプリ

「あやぴいあやパト隊」 3月1日から運用を開始

3月1日から、道路破損等通報アプリ「あやぴいあやパト隊」の運用を開始します。

同アプリでは、市民の皆さんなどが「あやぴいあやパト隊レポーター」となり、「道路に穴があいている」などの市が管理する道路の不具合を、スマートフォンなどの携帯端末で撮影して市へ投稿できます。投稿内容と市の対応は同アプリで公開し、どなたでも見ることができます。

皆さんも、同レポーターになってみませんか。投稿するには、スマートフォンなどの専用アプリケーションをダウンロードし、利用規約に同意の上、レポーター登録が必要です。※未登録でも見ることはできますが、投稿はできません

■レポーター登録できる方

市内在住・在勤・在学の方

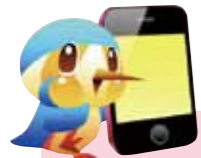
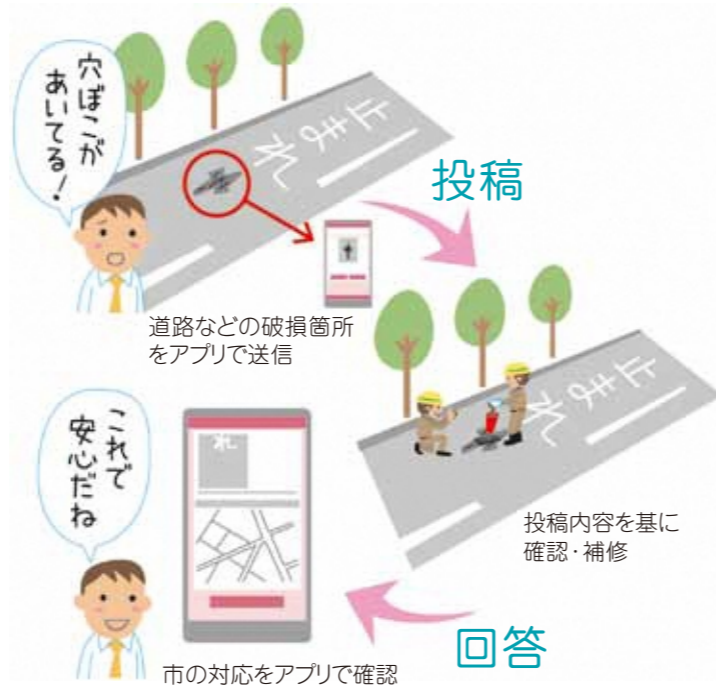
■登録内容

- ①公開するニックネーム
 - ②メールアドレス
 - ③市内在住・在勤・在学の別
- ☎道路管理課 ☎70・5628

アプリの使い方



※市での受け付けが完了すると、「地図を見る」をタップすることで対応状況が確認できます



「あやぴいあやパト隊」のダウンロードはこちら

●iPhoneをお使いの方
App Storeで「あやパト隊」と検索してください



●Androidをお使いの方
Google Playで「あやパト隊」と検索してください



忘れてない? サイフにスマホに火の確認

春の火災予防運動を実施

昨年中に市内で発生した火災は28件で、前年に比べ5件減少しました。消防本部では、

火災の発生を1件でも少なくするため、3月1日～7日の1週間、「忘れてない? サイフにスマホに火の確認」を合言葉に、春の火災予防運動を実施します。

期間中、消防機関では1人暮らし高齢者宅への住宅防火訪問を実施するほか、婦人防火クラブ員による店舗啓発活動、幼年消防クラブ員による法被通園を行い、市民の皆さんに広く火災予防を呼びかけます。

【強風時の火災予防】

これからは、寒さも峠を越え、火に対する警戒心が緩みがちになるほか、春特有の強い風が吹くことがあります。特に風の強い日は、屋外での火気の使用には十分注意してください。

【建物火災を防ぎましょう】

本市における建物火災の件数は、28年は5件であったものの、29年は18件、30年は19件と増加しており、過去10年と比較しても1番多くなっています。

火災予防は、一人一人の心掛けが大切です。防火安全対策の徹底をお願いします。

【住宅防火 いのちを守る7つのポイント 3つの習慣・4つの対策】

《3つの習慣》

- 寝たばこは、絶対やめる
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す



あやせのものづくりを支える 多様な人材から ものづくり再発見

あやせに“日本のものづくり”を学びに

プラムド君(28歳)は(株) KYOEIで日本のものづくりを学ぶインド企業のエンジニアだ。設計・製造・3D造形を手掛ける同社とインド企業の連携で来日し、2か月半をかけて日本のものづくりを学ぶ。

少しシャイで真面目なプラムド君は、毎日自作の弁当を手に、自転車で同社に向かう。道中、綾瀬から見える富士山に感動することがあるという。時折、母国の景色がチラリと思ひ浮かぶ。

インドでの休日は、家族と登山やドライブを楽しみ、日本では近所のショッピングモールや鎌倉を散策し、日本の生活や文

《4つの対策》

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
 - 寝具、衣類とカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する
 - 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する
 - お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる
- ☎予防課 ☎76・0119

消防フェアを開催

消防車からの放水、ロープ渡りやはしご車乗車が体験できます(はしご車乗車体験のみ、小学生以上の方対象)。車両の展示や写真撮影コーナーもあります。



☎3月2日(土)10時～14時 ☎消防本部
☎消防署 ☎76・0119

給排水設備の復旧協力

災害時における応急復旧業務に関する協定締結

2月12日、綾瀬市管工事業協同組合と、災害時における応急復旧業務に関する協定を締結しました。

この協定により、大地震などの災害発生時に、市内の給排水設備に被害が及んだ際、同組合より応急復旧業務の協力を得ることが可能となります。



☎危機管理課 ☎70・5641



化を学ぶ。「日本のものづくりは高品質・効率的で、みんながプロフェッショナルです。その環境で新しい考えや方法を学ぶのは楽しく、学んだものをいつか世界で生かしてみたい」と、向上心をのぞかせる。

向上心を持つ職人の気持ちは、どの国籍の方も変わらない。綾瀬のものづくりの現場は、高品質な“もの”だけでなく、日本のものづくりを学んだ“職人”が産まれる場所でもあった。

☎工業振興企業誘致課 ☎70・5661